

新任職員紹介



「先生」と呼ばれて

電子制御工学科 井田 利浩

今年3月に鹿児島大学大学院を卒業し、こちらに講師として着任しました。専門はニューラルネットワーク等で、脳における情報処理を研究しています。また、以前に通信系の企業で電話交換機を作っていた経験もありますのでこれらの分野に興味のある方は気軽に教官室のドアをノックしてみてください。

休みの日には唯一の趣味であるバイクに跨って、2ストローク特有の甲高い排気音とエンジンオイルの白煙を薙き散らしながら走っています。あの大気を切り裂く感じは4輪では決して味わうことが出来ず、一度味わってし

まうと病み付きです。しかし、押し寄せる環境保護の波には勝てるはずもなく、国内での中型2ストロークエンジンの生産が終わりを告げ、いつまで乗り続けられるか不安な日々を送っています。

さて、私が高専に着任して早くも2ヶ月が過ぎようとしていますが、この間に一番戸惑ったことは「先生」と呼ばれることでした…ああ、バイクの話をしてたら紙面が足りなくなっちゃった！最後に、「先生」と呼ばれるに相応しくなるよう精一杯がんばります！



後天的資質 (チャレンジ)

制御情報工学科 田中 義人

本年4月、茨城県の筑波研究学園都市から赴任してまいりました。新緑の山に囲まれた校舎で若い学生さんとともに一緒に勉強ができますことはうれしい限りです。人との出会いからすべてが始まる。これからのドラマ、学生さんとの出会いを楽しみにしております。

これまでは企業で産業機械の自動制御、光・磁気情報記録媒体・機器におけるオプトメカトロニクス等に携わってきました。研究室では、自分で機械に触り、動かし、制御する面白さを体験することを基本に、物づくりを愛する心と技術に感動する心、そして、豊かな創造力を持った技術者の育成を目指していきます。

人間は生を受けて以来一生を終えるまで、後天的資質をいかに磨きいかに発揮するかの連続です。人の資質は後天的に開発、育成されるのが多く、それがその人の人生にとって、非常に重要なものとなっていくと思います。いくら先天的に立派な資質を持っていたとしても、これ

は絶えざる努力により磨かなければ、決して発露しないでしょう。

教育者として駆け出しの新人ですが、今までに多くの人々から学び経験した知識と技術を活かし、若い人達が能力を高め、張り切って多に成果を出せる教育・研究の環境作り而努力してまいります。

諸先生方にはお世話になることが多いと思いますが、よろしくご指導の程お願い致します。最後に私の信条を述べましてご挨拶と致します。

- ・ 知識はいわゆるInput。知恵としてOutputして、初めて成果となり貢献できる。
- ・ 継続は力なり。やると決めたらとことん頑張る。波はあっても絶対続ける。
- ・ 自分に誇りを持つ。誇りの持てる努力をする。
- ・ 細心にして大胆。よく考えたらきっぱり決断する。



はじめまして

物質化学工学科 山根 大和

この4月から本校の物質化学工学科に、財団法人福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)から赴任してきました。本財団は、福岡県地域に新技術新産業を創出する目的で、科学技術振興事業団受託事業である福岡県地域結集型共同研究事業「新光・電子デバイス技術基盤の確立」を産学官の協力体制で行っています。

学生時代と財団雇用研究員時代は、尊敬する梶山千里先生の研究室(九州大学大学院工学研究院)で研究生活を過ごしました。本研究室における研究は、高分子の“分子運動特性と高次構造解析”を背景にして、テーマの設定と展開には常に“分子運動”というバックボーンが通っており、高分子材料の枠を越えて、生医学材料、有機超薄膜、大面積液晶ディスプレイ研究へと大きく展開しています。世界一恵まれた研究設備環境の中で、私自身は、

夢の新規機能性液晶材料の開発を目指して、高分子液晶および低分子液晶の有機合成や電気光学特性などの物性評価を行う研究に昼夜を問わず没頭して一日々を送ってきました。

これからは教育と研究を両立させることが求められます。教育においては、自身が発展途上の身であることを自覚し、技術と同時に人格も磨いて、学生指導を通じて世の中に役立つモノづくりの楽しさ、化学の楽しさ重要性を説いていきます。また、可能性を秘めた若い学生諸君に将来研究者として国際的に働く際に役立つ基本的なことを伝えたいと思います。研究においては、「データをして語らしめる」精神を常に忘れないで全力を尽くします。よろしくお願ひします。